

# 令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名		岬町商工会
	代表者職・氏名		会長 寺田 伸之
	所在地		〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日746-748
	担当者	職・氏名	事務局長（経営指導員） 阪本 敏郎
		連絡先	TEL（直通）： 072-492-3311
Fax： 072-492-2389			
		E-mail： <a href="mailto:misakis@skyblue.ocn.ne.jp">misakis@skyblue.ocn.ne.jp</a>	
①設立年月日		①昭和41年5月3日	
②職員数 （うち経営指導員数）		4名（経営指導員4名）（令和3年3月31日現在）	
③所管地域			
④管内事業所数		452（平成28年経済センサスー活動調査による）	
⑤管内小規模事業者数		311（平成28年経済センサスー活動調査による）	
⑥会員数（組織率）		245（54.20%） 令和3年3月31日現在	
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④商工業に関する講習会又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑤展示会共催会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>⑧商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑨輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>⑩商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑪行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>⑫社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑬商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>⑭行政庁からの委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>⑮前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

## 2. 事業概要

岬町商工会

<p><b>(1) 事業の目標</b></p> <p>経営相談事業においては、小規模事業者等が抱える個々の課題の収集と把握に努め、その課題解決に向けた適時・適切な情報提供に基づく助言指導を実施いたしました。経験の浅い経営指導員は経験のある経営指導員との連携を図り共に支援を行うことを目標としました。また、地域活性化事業においては、町外への消費流失増加の現状を鑑み、その他の流失を止めるべく地域に潜在する人・もの・技術等の資源活用を図るために、事業所間の連携を高める情報の提供並びに連携を図る場所の提供を行うことも目標としました。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p> <p>経営相談支援事業については、当商工会において、経験の浅い経営指導員が多数を占め、記帳・経営・金融・労務・法務等の分野にわたる基礎知識やスキル向上を図る必要があります。経験のある経営指導員がノウハウ等を提供して経営指導員一人一人の資質を向上させるようにしました。</p> <p>専門相談支援事業は、税務支援及び法律支援・労務支援を実施し、相談者と同席し、税理士・弁護士・社会保険労務士と相談者とのコーディネーター役として、事業継続のための助言をおこないながら、税制及び法的な理解・働き方改革等の問題の解決を行いました。</p> <p>地域活性化事業については、大阪府・岬町・阪南ブロック4商工会との連携のもと、担当経営指導員が中心となって巡回・電話及び窓口対応を通じて該当する事業所に周知し、事業の参加を促し、事業に参加する上での支援や方策を提案しながら事業を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまたは受けることが予想される事業者からの相談が大変多かったので、給付金・助成金・融資等の概要説明は金融相談専門員の来る日に可能な限り来ていただくようにし、新型コロナウイルス感染症関連の相談にかかわらず、待ってもらう時間をなくすため及び相談者が事務所に密集して3密にならないように原則として予約制といたしました。その結果、何時間も待っていただく事業者の方が出ることを避けることができました。セミナー・交流会等は1人1席とし、参加者同士の距離を空けオンライン配信が可能なものはオンラインでの参加も可能として新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めました。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p> <p>経営相談支援事業は、小規模事業者のニーズを把握し、その問題点の解決のために様々な情報提供や提案をおこない相談者の満足度を少しでも高めるよう努力しました。新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りが苦しくなっている事業者には「コロナ特別貸付」等の融資を商工会を通じて利用することにより、運転資金不足等の資金問題解決の一助ともなりました。</p> <p>地域活性化事業では、岬町外の消費者及び観光客の岬町内への誘導を図るため事業に参加した岬町内の小規模事業者が、新規顧客の獲得や売上増加のために自社及び商品等のPRに力を入れていかねばならない等の意識の変化を与えることができました。管内の小規模事業所には、様々な販路拡大の事業機会を提供することができ、地域活性化への一助として機能することができました。その結果、小規模事業者については、自社において積極的な姿勢が見られるようになってきたと感じます。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p> <p>経営相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業を利用した事業所においては、問題解決への情報提供、支援等を実施する唯一の機関との評価を得るようになって参りました。イベント実施時の新規客を自店へのリピーター客へと導く取り組みをする事業者が徐々に増えてはいますが、まだまだ少ないので、もっと増やす方策を考える必要があります。</p> <p>令和2年3月31日限りで廃園となった「みさき公園」の影響を受けた業者も何社かありましたので今後も引き続き、その対策も必要となってきます。新型コロナウイルス感染症の影響で苦しむ飲食店および飲食店への納入業者等の売上が激減し、経営が大変であるので何とか廃業しないような支援を行っていかねばなりません。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が激減して苦境に立たされている飲食店・小売店等が廃業しないように支援を続けていきます。次年度は、それが一番の取り組み課題です。</p>

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 岬町商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営相談支援事業は、経験の浅い経営指導員が大部分を占めるので個々の相談事案について、経験の浅い経営指導員と経験のある経営指導員が共に協力して相談事業所の課題解決に取り組むために次のように努めました。</p> <p>①記帳支援については昨年の消費税改正にともない、昨年支援しきれなかった企業の支援と、昨年支援した企業はほとんどできていなかった「区分経理」・「インボイス制度への対応策」を支援しました。</p> <p>②融資の支援については、日本政策金融公庫の「コロナ特貸し」・「コロナマル経」、民間金融機関の「保証協会のコロナ版貸付」・その申込に必要な「セーフティネットの証明書」の取得等がスムーズに進むように支援いたしました。</p> <p>③給付金等の相談については可能な限り対応いたしました。特に要件の説明には力を入れました。</p> <p>代表事例としては、サービス事業者が設備資金でマル経融資系を借入する際に返済余力が足りませんでした。令和2年度の決算を急ぎ令和2年度の実績で返済余力が確認でき、設備資金の借入れに決定した事例がありました。</p> <p>今後とも経営指導員が事業者の立場にたった考え方・対応を継続することにより、事業者の方々が商工会への信頼・信用をより深くもっていただけます。そうすることで、経営指導員も各種支援・サービスの向上に努めることができ、その結果、地域商工業の振興・発展に繋がられると思います。また、「入りやすく明るい商工会」・「相談しやすく親切丁寧な経営指導員がいる商工会」を目指します。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	193	199	103.1%	4	
支援機関等へのつなぎ	支援数	15	2	13.3%	4	
金融支援（紹介型）	支援数	25	28	112.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	30	19	63.3%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	10	1	10.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	10	0	0.0%		
記帳支援	事業所	40	159	397.5%	4	
労務支援	支援数	38	17	44.7%	4	
人材育成計画作成支援	事業所	2	0	0.0%		
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%		
販路開拓支援	支援数	30	0	0.0%		
事業計画作成支援	支援数	9	10	111.1%	5	
創業支援	事業所	5	5	100.0%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%		
コスト削減計画作成支援	事業所	5	0	0.0%		
財務分析支援	事業所	18	0	0.0%		
5S支援	事業所	1	0	0.0%		
IT化支援	事業所	5	0	0.0%		
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%		
事業承継支援	事業所	5	1	20.0%	4	
災害時対応支援	事業所	0	0			
フォローアップ支援	事業所	40	0	0.0%		
結果報告	事業所	193	199	103.1%	4	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>昨年改正された消費税（区分記載請求書保存方式・適格請求書等保存方式〔インボイス方式〕等）法に対応し、さらに、事業継続・承継等にかかる税務相談に対応するため、税理士による税務個別相談会を計画どおり3回、弁護士による法律個別相談会を2回開催いたしました。また、今年度は働き方改革及びコロナ関係の雇用継続の助成金にも対応するため社会保険労務士による労務相談も3回実施いたしました。これにより、商工業等の相談者が抱えていた諸問題が少しは解決されました。また、コロナ関連の給付金・助成金等の制度説明は可能な限り「金融相談専門員」に対応していただきました。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	7	116.7%	5
法律相談	継続	相談件数	4	4	100.0%	5
労務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>広域連携事業は、①おおさか泉南まるごと商店街事業、②南泉州地域異業種ビジネス交流会事業、③BCP策定支援推進事業を実施いたしました。</p> <p>①「おおさか泉南まるごと商店街事業」については、商店街の形成も少なく商店が点在している泉南地域のデメリットを逆に利用してスタンプラリー形式を取り入れ、消費者に対し「商店めぐり」という点を強くアピールし、ゲーム感覚で参加してもらえよう実施しました。さらに、散在する「参加商店巡り」を大勢の消費者に認知してもらえようように、チラシに地図を入れてカラー刷りにし、参加店には参加店証の掲示と「のぼり旗」を立てて実施していただき、消費者アンケートも実施いたしました。当初計画の185社より4社多い189社の参加となり、本事業が消費者からも開催日時の間い合わせ等もあり地域住民にも浸透してきたため、企業においても本事業に参加することが少しでも販路開拓につながるという意識をもってきていると感じています。また、今年度より100円商品だけでなく500円、1,000円商品でも参加できるようにしたため、参加事業所も徐々にですが増えてきています。</p> <p>②「南泉州地域異業種ビジネス交流会事業」は、岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の連携により実施し、第1部では「事業承継セミナー」、第2部では意見交換会、第3部では名刺交換等ができる交流会実施いたしました。そして、新たなビジネスチャンスへの認識も深め、参加事業所が自社の商品・サービス等を積極的にアピールする場となりました。また、今回も前年に続き事業承継セミナーも取り入れ、事業承継についてもディスカッションした結果、事業承継に取り組んでくれるまではいきませんでした。また、「事業承継が必要である」と24社が回答してくれましたので、事業承継を積極的に増やしていく第一歩となりました。</p> <p>③BCP策定支援推進事業は、岬町・能勢町・豊能町の3商工会の連携により、新型コロナウイルス感染症の感染者が増えてきている中での開催にもかかわらず、オンライン配信をしオンラインでの参加も認めましたので、感染者が増えてきている中にもかかわらず沢山の参加者がありました。そして、参加者のほとんどがBCPの重要性を理解してくれました。</p> <p>④広域連携の幹事以外の事業も幹事商工会等のもと積極的に参加いたしました。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	おおさか泉南まるごと商店街事業	185	189	102.2%	72	まるごと商店街を通じて自社及び自社製品・商品・サービスのPRができた、新たな取り組み、企業連携、販路開拓に取り組んだまたは取り組みたいという事業者数	100	189	189.0%	4
	南泉州地域異業種ビジネス交流会事業	60	53	88.3%	92	自社のPRができた・新たな取り組みができた・事業間連携ができた・販路開拓ができたという企業数	48	27	56.3%	4
	BCP策定支援推進事業	75	54	72.0%	93	事業継続計画(BCP)策定した企業数、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定した企業数	75	44	58.7%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

岬町商工会

事業名		おおさか泉南まるごと商店街事業							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>おおさか泉南地域は商店街が少なく、その中でも岬町・阪南市・泉南市・熊取町の泉南4地域の4商工会管内は特に商店街が少ない。商業集積は大型・中型のスーパーを核に数ヶ所存在しますが、ほとんどの商店は地域の中で散在しているため、大型スーパーやコンビニエンスストアに対抗できず集客力に乏しいのが実状です。さらに、岬町は平成29年4月に第二阪和国道の淡輪から和歌山市間が全面開通し、岬町内市街地を縦断する旧26号線の車両通行量が激減しました。その結果、ただの通過点となった岬町の経済活性化対策として物産展等の販路開拓支援をしていますが、小規模零細企業の多い泉南地域では人員・費用等の問題で物産展すら出店できない事業所が多く存在します。これらの問題を打破し4地域の小規模零細企業を支援するための方策として、おおさか泉南地域の4地域（岬町・阪南市・泉南市・熊取町）で、商店街が形成されていなくても実施可能な「100円商店街」事業を実施し、物産展に出店できない小規模零細企業を積極的に支援することを目的とし、最終的に商店が形成されてなく店舗が点在している地域の見本となれるような「100円商店街」事業になることを目指します。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域4商工会管内の事業所（岬町452、阪南市1,506、泉南市2,128、熊取町1,239）合計5,325事業所を対象といたしました。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①4商工会の担当者会議を2回開催いたしました（令和2年7月と12月）</p> <p>②9月～10月にかけて4商工会の経営指導員が、まるごと商店めぐりの趣旨説明し参加店募集を行うために巡回活動をいたしました。</p> <p>③「おおさか泉南まるごと商店めぐり」を次のとおり実施いたしました。                  実施日時： 令和3年1月8日（金）、1月9日（土）の2日間                  開催場所： 各参加店舗                  参加事業者数： 岬町49社、阪南市56社、泉南市48社、熊取町36社 合計189社</p> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各参加店には「参加店証」および「のぼり旗」を設置してもらい「参加店」が一目でわかるように工夫しました。また、令和2年度は「参加店証のデザイン」を遠くからお客様が見ても目立つデザインと色に変更しました。</li> <li>●参加店へ集客力を高めるため、スタンプラリーを実施しました。</li> <li>●100円商品以外の500円商品と1,000円商品でも参加できるように令和2年度から変更したので、参加店募集時に粘り強く説明した結果、参加店（支援企業数）は令和元年度より22社多くなりました。その結果として、参加店の参加商品数も増えました。</li> </ul> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		<table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員で組織した担当者会議を開催し、開催日・参加店募集に関すること・PR方法ならびに詳細事項を協議しながら広域連携で実施いたしました。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4市町と連携をしながら進めていき、4市町には後援ならびに広報・HP等でのPRを実施していただき、地域の商業を盛り上げる事業として更に積極的に商業活性化に取り組んでいただきました。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員が、参加店募集のための各店の販路開拓推進ならびに啓発をしながら、100円商店街の趣旨から100円商品の作り方ならびに見せ方等まで、メイン商品へとお客様を誘導する方法から新規顧客開拓に至るまでを支援いたしました。</td> </tr> </table>	①府施策連携		②広域連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員で組織した担当者会議を開催し、開催日・参加店募集に関すること・PR方法ならびに詳細事項を協議しながら広域連携で実施いたしました。	③市町村連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4市町と連携をしながら進めていき、4市町には後援ならびに広報・HP等でのPRを実施していただき、地域の商業を盛り上げる事業として更に積極的に商業活性化に取り組んでいただきました。	④相談相乗
①府施策連携									
②広域連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員で組織した担当者会議を開催し、開催日・参加店募集に関すること・PR方法ならびに詳細事項を協議しながら広域連携で実施いたしました。								
③市町村連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4市町と連携をしながら進めていき、4市町には後援ならびに広報・HP等でのPRを実施していただき、地域の商業を盛り上げる事業として更に積極的に商業活性化に取り組んでいただきました。								
④相談相乗	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員が、参加店募集のための各店の販路開拓推進ならびに啓発をしながら、100円商店街の趣旨から100円商品の作り方ならびに見せ方等まで、メイン商品へとお客様を誘導する方法から新規顧客開拓に至るまでを支援いたしました。								

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	185	総支援企業数(実績)	189	支援実績率	102.2%	満足度	72.0
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①PR用新聞折り込みチラシは、参加各企業名並びに100円、500円、1,000円商品内容を掲載し、令和2年度は令和1年度同様に、お買い得商品も掲載し、チラシ1枚でお客様が商店巡りができるように各地域の商店の地図も掲載いたしました。</p> <p>②店舗に居ながらも販路開拓できる「まるごと商店めぐり」に参加することにより、商売の基本は、「消費者に店舗の存在を認識し、店舗に買いにきていただくこと」であるという基本理念のもと、経営指導員が巡回活動を行った結果、当初計画の支援対象企業数185社より4社多い189社が「まるごと商店めぐり」に参加していただきました。</p> <p>③各市町による広報及びカラーチラシによるPR活動等により、各地域の消費者に浸透してきた結果、「まるごと商店めぐり」に参加することにより、自店の販路開拓及びPRができたと思った参加店は138社でした。</p> <p>④参加企業からの事後アンケートにおいても、延べ来店者数は1日目3,404人、2日目3,345人（1社来店者平均1日目18人、2日目17人）との回答が寄せられました。また、出店動機（複数回答）は企業のPR 146社、自社商品等のPR 51社、売上の増加 39社、新規顧客の開拓 70社、その他9社という結果でした。出店の効果におきましても、「予想以上にあった」3社、「あった」34社、「少しあった」59社、の計96社 51%を占めることとなりました。参加企業における今後の販路拡大のための施策（複数回答）としましては、「企業のPR」89社、「自社商品等のPR」55社、「DM・チラシの発送」11社、「新商品の開発」11社、「イベントへの出店・自社でのイベント開催」28社、「商品パッケージ等のデザイン開発」3社、「企業連携」6社、「その他」9社 が必要だと認識していただきました。</p> <p>⑤お客様の「おおさか泉南まるごと商店めぐり」への反応を確認するために、前年に引き続いてお客様アンケートを実施いたしました。実施方法は、各商工会に景品交換に来られたお客様全員にお客様アンケートに記入してもらうという方法をとりました。その結果、110名のお客様より回答をいただき、満足した：58名（全体の53%）、お店の対応が良い：83名（全体の75%）、事業を継続してほしい：105名（全体の95%）等、「おおさか泉南まるごと100円商店めぐり」に対する肯定的な意見が多数を占めたので、お客様の反応は良かったと感じました。</p>							
	代表指標	100円商店街を通じて自社及び自社製品・商品・サービスのPRができた、新たな取り組み、企業連携、販路開拓に取り組んだ、または取り組みたいという企業数。							
	数値目標	100	実績数値	189	目標達成度	189.0%			
成果の代表事例	岬町の珈琲販売店では、コロナウイルスの影響で前回より売り上げは下がったが、新規のお客様が来ていただけたり、以前より興味を持ってくださってたお客様の来店のきっかけになったと喜んでいただけました。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>①令和2年度から「100円は無理だが、500円または1,000円商品なら用意できるので参加できる」という事業所のため「100円商品を基本とはするが、業種的に無理な業種は500円または1,000円でも参加OK」とリニューアルして臨んだ結果、参加店数も増えたが、反対に100円・500円・1,000円以外の「お買い得商品」をPRする店舗が減ったので「お買い得商品」をPRすることも啓発していく必要があると考えています。</p> <p>②令和2年度は、寒さ対策と売上が減少する時期に実施するという2点を考慮して例年より2週間早い時期に実施したが、逆に寒波の到来と新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より客足が悪かったので、もう少し実施日を繰り上げることも検討していきたいと思っています。</p>							

岬町商工会

事業名

南泉州異業種ビジネス交流会

想定する実施期間

27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的  
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

泉州地域の4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市・熊取町)は、商店街の形成が少なく個々の事業所が散在しているため、集客力に乏しい上に大型スーパーの開業やコンビニエンスストアの進出等により、事業所における売上減少及び雇用縮小が続き4商工会管内は事業所数の減少が続いているのが現状です。また、岬町は関西電力多奈川発電所の無期限操業休止等により地域経済は衰退の一途を辿っています。このような中、大阪府における訪日旅行者(インバウンド)は増加しており、このインバウンド客を4商工会管内地域に誘導し、飲食・ショッピング・宿泊等の経済効果に結び付ける仕組みづくりが課題でありビジネスチャンスでもあります。そこで、人員・費用等の問題で新しい事業展開の取組みができない個々の事業所が、地域としての一体感および事業所間の連携を自発的におこなえるようにするために本事業(交流会)を実施します。  
また、「事業承継」問題のことも考える交流会とし、参加事業者が「事業承継」問題に真剣に取り組み、廃業する事業所の減少および事業承継が円滑にできる事業所を増やすことも目的とします。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市、熊取町)の事業所数合計5,325社(岬町452社、阪南市1,506社、泉南市2,128社、熊取町1,239社)および創業予定者も対象とします。

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

令和2年度は、  
実施日 : 令和2年12月7日(月)  
実施場所 : クリモト淡輪研修センター  
支援企業数 : 53社54名(岬町25社25名、阪南市10社11名、泉南市10社10名、熊取町8社8名)。  
実施内容 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策措置(①マスクの着用 ②入場時の手のアルコール消毒 ③入場時の検温→37.5℃以上入場制限 ④セミナーは1人につき1テーブル・前後のテーブル左右交互に座る ⑤意見交換会&ミニ交流会も各テーブルを1席ずつ空けて座る・意見を言う人だけマスクを外し、その間、他の方はマスクを着用する。⑥3密防止のために1分間PRは中止した。⑦参加は原則として1企業1名 ⑧3密を避けるため人数制限の実施(例年、参加頂いている市町の担当者・日本政策金融公庫等の商工会と関連の深い団体と呼ばなかった。)をしながら次のとおり開催した。  
(第1部) 事業承継に関するセミナー(18時~19時30分)  
テーマ : ~廃業寸前から復活まで! 涙の事業承継も語ります~  
「本当に伝わるプレスリリースとは」  
講師 : 広報ジャーナリスト協会 代表 広報ジャーナリスト  
(第2部) 意見交換会&ミニ交流会(19時30~20時00分)  
フリートークだが、必ず「事業承継」問題について意見交換するということで10個(コロナ対策で1テーブル6名までとしたため)のテーブルに分かれて意見交換会を実施した。  
(第3部) 交流会(1分間PR・名刺交換会)(20時00分~20時20分)  
参加された53社の自社の概要や製品・商品・サービス及び得意分野などの情報を受付時に名簿で渡し、参加者全員に大きな文字の見やすい名札をつけてもらい、名刺交換したい事業所を事前に事務局に報告、事務局同士で調整し名刺交換ならびに情報交換をしてもらった。例年実施している「1分間PRタイム」は人の密集度が高く3密になる危険性があるため、やむなく中止としたのでこういう形での実施となった。

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携

②広域連携

③市町村連携

①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。  
②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めました。  
①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。  
②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。

		④相談相乗	<p>①グループディスカッションで「事業継承」問題についても意見交換してもらうため、事業承継について積極的に取り組む事業所を支援しカルテ化に繋げるよう努力した結果、当商工会でのカルテ化は1件であったが、当商工会の参加企業では「事業承継のことが少し理解できた」が25件（全体の47%）中20件・「事業承継の必要性を感じた」が24件（全体の45%）中22件もあり、事業承継の重要性を認識してくれていることを感じました。</p> <p>②また、新規顧客の獲得ならびに新しい取組み等を積極的にする事業所を支援しカルテ化に繋げようとしたが、新型コロナウイルス感染症の影響であまりにも相談件数が多く「販路開拓支援」のカルテ化にまでは至りませんでした。 「事業計画作成支援」のカルテが10件と例年の倍以上ありました。</p>						
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	53.0	支援実績率	88.3%	満足度	92.1
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度  (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>南泉州地域異業種ビジネス交流会の参加企業は、4商工会の職員の巡回等により53社となり交流会参加の効果においては、「予想以上にあった」13社、「あった」30社で計43社と全体の81%を占め、また「少しあった」も10社ありました。</p> <p>販路拡大のための必要な取組み（複数回答）としては、「事業所及び製品等のPRができた」が23社（43%）、「他社のビジネス情報の収集ができた」が19社（36%）とコロナ禍にもかかわらず参加企業の約半数がそう感じてくれました。</p> <p>また、「事業承継のことが少し理解できた」が25件（全体の47%）、「事業承継の必要性を感じた」が24件（全体の45%）もあり、事業承継の重要性を認識してくれている企業も半数近くいることが分かりました。</p>							
	代表指標	自社のPRができた・新たな取組みができた・事業間連携ができた・販路開拓（取扱い商品等のPR）ができたという企業数							
	数値目標	48	実績数値	27	目標達成度	56.3%			
	成果の代表事例	<p>交流会に参加した企業で、事業主が9月に死亡した企業があり、従業員への事業承継に3月までに商工会とともに産業局・日本政策金融公庫等への個別相談等を重ね、一度は妻に事業主を変更（営業許可の関係で）したが、新型コロナウイルス感染症の影響で従業員への事業承継は叶わず3月末日をもって廃業したが、その間の活動は無駄ではなく、その企業の従業員はコロナ終息後に創業を目指そうとしています。</p>							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点（会場の広さからみて、3密を防ぐことが困難だったため。）から交流会のメインである「1分間PRタイム」は、やむなく中止したため参加者は不完全燃焼だったと思います。当初は「クリモト淡輪研修センター」より会場が広い「海風館」で開催する予定でしたが、指定管理者不在により運営していなかったため、「クリモト淡輪研修センター」での開催となりました。令和3年度は、そういう点も踏まえ、発表者だけ別室からオンラインで発表できる等の設備のある会場を探して、「1分間PRタイム」も実施する予定です。詳細については、広域連携の各商工会の担当者会議で検討していきます。商工会管内の地域においては、現状の経営基盤の打開のため、事業所での新たな取組み・改革につなげたいと望んでいる経営者は多く、事業所間交流に対する要望も多くあります。</p> <p>また令和2年度に実施しました本事業の参加事業所のアンケート等からも、本交流会に参加して他社のビジネスモデルや有益な情報・他の市町の地域情報を収集することにより、新たな顧客の創出ならびに新たな取組みをするときのヒントになるという声を多くいただいています。これらの新しい取組み事業に挑戦したいという経営者の生の声を4商工会の経営指導員の巡回等により聴き取り、本交流会への参加を促していきます。また、令和元年度より取り入れた「事業承継」問題についても「必要」という意見も多いため、今回も「事業承継」問題について真剣に考える交流会とします。</p> <p>そして、新型コロナウイルス感染症の影響により「先が見えない」という意見も多いので、その問題についても交流会でディスカッションし、良いアイデアを共有し問題解決に繋げてもらうようにしていきます。本事業実施により、岬町のみならず阪南市、泉南市、熊取町地域内の各事業所が他社のビジネス情報および他市町の情報を交流会で交換することにより新たな情報を収集し、新たなネットワークの構築とそれを活用した新事業連携の可能性が生じていく。そして、各商工会は新たな事業へのチャレンジ機運が高まることにより積極的な販路拡大に繋がるような支援をしていく。</p>							



岬町商工会

事業名		BCP策定支援推進事業	
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	事業継続計画(BCP)とは、企業が自然災害、大火災、感染症、テロ攻撃などの脅威に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などの取り決めを行うことである。あらゆる脅威の中で、現在、国内外で蔓延している新型コロナウイルス感染症は、事業の停止や企業の倒産など様々な悪影響を及ぼしている。今後も新型コロナウイルス感染症は中小企業を中心に大きな影響を与えると考えられ、一刻も早く対策を行わなければならない。 そこで、地域事業者の自然災害や感染症発生時における事業継続力強化を進めていく。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地震、風水害、伝染病、感染症、情報セキュリティ事故、サプライチェーンの途絶等、事業をとりまく様々な脅威に対して、BCPを策定していない中小・小規模事業者等を対象とする。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>(1) 事業継続計画(自然災害BCP)策定講座(ワークショップ)</p> <p>次のとおり、令和2年12月～令和3年1月の間に計3回実施いたしました。尚、新型コロナ感染者が増えてきたことにより急遽感染拡大防止のため、現地出席およびオンラインでの出席(ZOOM)のどちらでもいけるようにした。</p> <p>開催日時：①令和2年12月10日(木) 10:00～12:00 出席者12社(12名) ②令和2年12月18日(金) 10:00～12:00 出席者13社(13名) ③令和3年1月13日(水) 10:00～12:00 出席者10社(10名)</p> <p>開催場所：大織健保会館 7階会議室 支援者事業者数：34社</p> <p>(②と③で同じ会社が2日連続で参加しているため、35社-1社=34社)</p> <p>本事業では、自然災害の発生時に事業への影響を極小化し、速やかに復帰できるよう、中小零細企業者用事業継続ガイドライン(簡易版)を使い、ワークショップ形式で各事業者の状況に応じた自然災害BCPの作成を支援する。</p> <p>(2) 感染症対応マニュアル策定支援セミナー(ワークショップ)</p> <p>次のとおり、令和2年12月～令和3年1月の間に計4回実施いたしました。尚、新型コロナ感染者が増えてきたことにより急遽感染拡大防止のため、現地出席およびオンラインでの出席(ZOOM)のどちらでもいけるようにした。</p> <p>開催日時：①令和2年12月10日(木) 13:00～15:00 出席者12社(12名) ②令和2年12月18日(金) 13:00～15:00 出席者13社(13名) ③令和3年1月13日(水) 13:00～15:00 出席者10社(10名)</p> <p>開催場所：大織健保会館 7階会議室 支援者事業者数：34社</p> <p>(②と③で同じ会社が2日連続で参加しているため、35社-1社=34社)</p> <p>④令和3年1月13日(水) 13:00～15:00 出席者20社(22名) 支援者事業者数：20社(同じ会社の方が3名参加しているため、22社-2社=20社) 開催場所：大阪産業創造館 5階研修室A B 事例発表：2社 「わがの新型コロナウイルス感染症対策」</p> <p>①②③④合計の支援者事業者数：54社</p> <p>(1)と(2)併せての実支援者事業者数：54社</p> <p>本事業では、感染症等の発生時においても、事業への影響を極小化し、速やかに復帰できるよう、事業者に応じた感染症対応マニュアルの策定支援を行う。ワークショップ形式で実施することで、各事業者がコロナ禍において実際に受けた影響等について情報交換し、事業者にとって、より実効的なマニュアルの策定を目指しました。</p> <p>(1)(2)ともに、本ワークショップは、大阪市内で実施いたしましたので、新型コロナ感染者が増えてきたことにより急遽感染拡大防止のため、現地に直接行って参加することを要せずオンライン配信により、事業者が各商工会等においても参加することもできるようにしました。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>	
	①府施策連携	(a)府施策連携 商-9番(コロナパッケージ①) 事業の広報・周知等で大阪府商工会連合会とも連携の上、実施いたしました。	
②広域連携			
③市町村連携			
④相談相乗			

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	75.0	総支援企業数(実績)	54.0	支援実績率	72.0%	満足度	93.1
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>・事業継続計画(BCP)策定については、「既に現在取り組んでいる」1社、「現在検討中」20社、「これから取り組む予定」11社と事業継続計画(BCP)の策定に取り組もうとしている企業が32社ありました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対応マニュアル策定については、マニュアル策定まではいかずとも、既に何らかの新型コロナウイルス感染症対策を実施している企業が44社ありましたので、「超簡易版BCP これだけは！シート(新型コロナウイルス感染症対策版)」を渡して書き込んでもらうようにしました。</p>							
	代表指標	<p>業継続計画(BCP)を策定した企業数(取り組もうとしている者を含む) 32社          新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定した企業数(「超簡易版BCP これだけは！シート(新型コロナウイルス感染症対策版)」を渡して書き込んでくれると言った企業数を含む) 44社          実質の企業数としては44社です。</p>							
	数値目標	75	実績数値	44	目標達成度	58.7%			
	成果の代表事例	<p>外注先の家族がコロナに感染したが保健所から濃厚接触者ではないため、PCR検査もできないと言われた。感染していたらどうしようかと混乱したが、本ワークショップで勉強したことを思い出して早急に対応でき、病院にも連絡し自費でPCR検査を受け1週間は家族と隔離してホテル住まいをして業務をこなしていた。コロナに感染していたら今後の仕事もどうなるかわからなかったし、何も勉強していなかったらその判断はできていなかったのも助かったと連絡がありました。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>①今後の対応として、計画書の見直し、BCP発動訓練など作成後のフォローアップを実施する。</p> <p>②今回のようにワークショップ直前にコロナの感染者が増えたように、オンライン配信をもっと活用していきたい。</p>							